

「地球温暖化と核燃料サイクル政策について」の各政党へのアンケート・集計結果 (2010.7.8現在、ご返信いただいた政党のみ。)

政党名	1. 地球温暖化対策について	2. 核燃料サイクル政策について	3. 貴党の原子力政策の基本をお教えてください。	
	<p>(1) 地球温暖化対策に目標を掲げていますか。いつまでに、どのように取り組むのかお教えてください。(例…「2020年までに〇〇年に比べて〇〇%削減」など)</p>	<p>(2) 地球温暖化対策の柱は何でしょうか。(重点を置く順に番号をつけてください。)</p> <p>a.太陽光発電 b.風力発電 c.水力発電 d.地熱発電 e.原子力発電 f.バイオマス g.その他</p>	<p>貴党は、原子力発電所から出る使用済み核燃料を再処理する核燃料サイクル路線について… <input type="checkbox"/>支持する <input type="checkbox"/>支持しない <input type="checkbox"/>その他</p> <p>※「支持する」とお答えの方へのおたずね</p> <p>(1) 再処理工場は計画通り進んでいませんが、それに対してどのような対策をとりますか…<input type="checkbox"/>現在の六ヶ所再処理工場を活用する <input type="checkbox"/>新たな再処理工場を建設する <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(2) 現在多額の資金が投入されている核燃料サイクルですが、今後採算が合うと考えていますか…<input type="checkbox"/>将来的には採算が合う <input type="checkbox"/>電気料金や税金からの支出が増える可能性がある <input type="checkbox"/>その他</p> <p>※「支持しない」とお答えの方へのおたずね</p> <p>支持しない理由は何ですか…<input type="checkbox"/>再処理工場の見通しが立たない <input type="checkbox"/>再処理するより直接処分が安全で経済的 <input type="checkbox"/>再処理による環境汚染や危険性が直接処分より大きい <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>a.原子力発電の推進 b.原発増設は止める c.現在の原発はできるだけ早期に廃炉 d.その他</p>
<p>民主党</p>	<p>温室効果ガスの排出量について、すべての主要国による公平かつ実効性のある国際的な枠組みの構築及び意欲的な目標の合意を前提として、2020年までに1990年比で25%削減する。また、2050年までに1990年比で80%を削減する。</p>	<p>「すべてが重要であり、番号をつけることは難しい。」「g.その他」として…国内排出量取引制度の創設、税制全体のグリーン化、再生可能エネルギーの全量固定価格買取制度の創設、省エネの促進、国際的連携の確保・国際協力の推進、教育及び学習の振興、排出量情報等の公表</p>	<p>支持</p> <p>現在の六ヶ所再処理工場を活用する。(青森県及び六ヶ所村を含め、地元の理解と協力が不可欠であることから、政府としても、その理解と信頼の獲得に努めているところ。)採算の面も含めて円滑に進むよう、政府として適切な施策を講じていく。</p>	<p>a.原子力発電の推進…(核燃料サイクルを含めて、原子力の平和利用は、エネルギーの安定供給だけではなくて、今後の低炭素社会の実現に不可欠。安全を第一としながら、また国民の理解と信頼を得ながら、核燃料サイクルを含む原子力利用を着実に推進していく。)</p>
<p>国民新党</p>	<p>気候変動に関する基礎的研究の継続と充実…近年の地球温暖化に関しては様々な分析が行われており、人類活動、とりわけ二酸化炭素に代表される温室効果ガスの排出増加が温暖化の主因であるという考え方が主流になっており、洞爺湖サミットの「G8首脳宣言」につながっているものと考えられます。一方で、「地球環境は地球が惑星として形成された約46億年前から、常に大きな気候変動を繰り返してきた」「温暖化と寒冷化を繰り返している」という説もあります。現状では温室効果ガス以外のことについて判っていないことが非常に多く、気候変動の全貌は解明されているとは言えません。私たちは観測的・科学的な知見の集約を更に進めるためにも、気候変動に関する基礎研究の充実を図っていきます。</p>	<p>温室効果ガス削減目標設定や排出権取引を科学的見地からしっかりと検討します…気候変動対策を自然科学で裏打ちすることは、環境政策を考えていく上で重要なことです。十分な科学的な検証なく温室効果ガス削減の目標設定や排出権取引の急拡大を進めること自体をゴールにするべきではありません。私たちは、全世界的に大きな影響を長期間に渡り及ぼすことが避けられない気候変動政策であるからこそ、今一段の知見の集積と成熟した議論を行ってまいります。今できる環境対策の普及促進…化石燃料の消費を抑えるためには、エネルギー源の多様性も求められています。私たちは環境への負荷が少ない太陽光、燃料電池や小水力発電などの再生可能エネルギーを用いた発電機器の効率性・耐久性・低価格化のための積極投資と、各家庭・事業者への一層の普及を図る為の補助制度の更なる充実を進めていきます。</p>	<p>支持</p> <p>(1)「その他」現在、検討中です。(2)「その他」現在、検討中です。</p>	<p>大規模な新エネルギー開発投資…私たちは、供給上の限界がある化石燃料の消費を最小限に抑えるためにも、様々な省エネルギー政策とともに、原子力の平和利用を推進します。安全性の一層の向上、老朽化施設更新のための投資、各国との協調の中で核融合技術の21世紀中頃の実用化などについて、幅広い意見を取り入れて具体的な研究開発投資を検討します。</p>
<p>社民党</p>	<p>2020年までに1990年比30%、2050年までに1990年比80%。</p>	<p>1. a.太陽光発電、b.風力発電 2. c.水力発電、d.地熱発電、f.バイオマス</p>	<p>不支持</p> <p>再処理による環境汚染や危険性が直接処分より大きい。</p>	<p>c.現在の原発はできるだけ早期に廃炉</p>
<p>公明党</p>	<p>温室効果ガスを2020年に1990年比で25%以上削減。温室効果ガスを2050年に1990年比で80%以上削減。自然エネルギーを2030年までに電力の30%に。</p>	<p>1. a.太陽光発電、b.風力発電、2. f.バイオマス、g.その他(小水力、地中熱)</p>	<p>その他</p> <p>原子力発電は過渡的エネルギーであるとの党基本政策に立ち、コストを含め今後も議論。</p>	<p>d.その他…原子力発電は過渡的エネルギーである。</p>
<p>日本共産党</p>	<p>日本の温室効果ガスの排出量を2020年までに1990年と比べて30%削減、2050年までに80%削減する。</p>	<p>「(e.原子力発電以外は)全部やる必要があるので同列1位」(g.その他…太陽熱利用、地熱利用、潮力発電、ヒートポンプ、断熱施工)</p>	<p>不支持</p> <p>再処理工場の見通しが立たない。再処理による環境汚染や危険性が直接処分より大きい。(プルトニウム自体がきわめて有害であり、同時に核兵器の原料でもある。)</p>	<p>c.現在の原発はできるだけ早期に廃炉</p>

(未回答：自民党、みんなの党、たちあがれ日本、日本創新党)

核燃料サイクルアンケート実行委員会